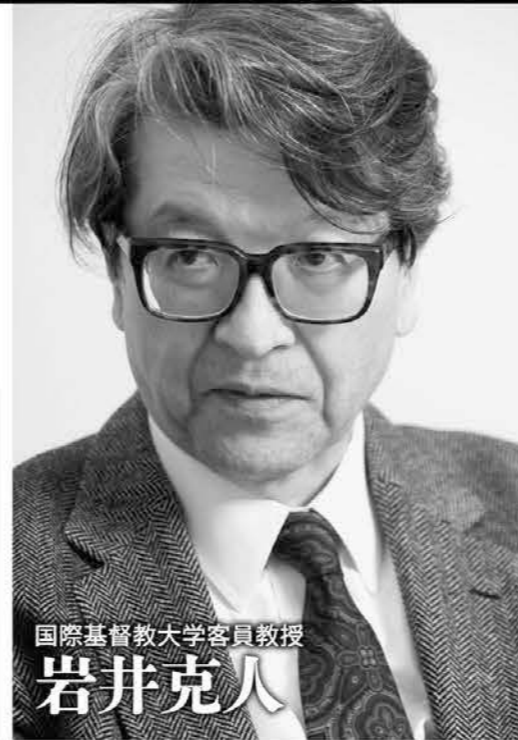


前回の岩井教授との対談「なぜ今、経営に『倫理』が求められるのか」では、英米流の「コーポレート・ガバナンス理論の誤り」について話し合ったが、今回は話題が拡がり、「ミクロでは合理的に見えることが実はマクロ的には不合理な結果を生む」という哲学論議になった。(撮影：幸田森)

中谷 僕の見るところ、貴兄の仕事の魅力の一つは、ミクロ的には合理的に見えても、マクロ的には予期せぬ不安定な結果が生まれるという人間社会の複雑さを経済学的に示してくれるところです。このような観点から資本主義の不安定性を理論化した「不均衡動学」は面白かった。

岩井 ありがとうございます。前回議論した「信任論」にしても、経営者に株主の代理人として行動させるための英米流コーポレート・ガバナンスの一見合理的に見える考え方が、実は企業経営を歪める可能性があるというのもその例にあ



国際基督教大学客員教授
岩井克人

「ミクロの合理性」だけでは 世界は見えない

www.fushikian.jp

たるかもしれないね。一見ただけでは、合理的、正當に見えても、より高い視点から見ると結果的に間違っていることはしばしばあります。

中谷 先般「不識塾」塾生と、英国の民主主義がなぜ先進的なのかを探るため、英国議會を訪問しました。結論は「直接民意を反映しない貴族院の存在が大きい」というものでした。何でも「民意によらなければ民主主義でない」と思い込んでいた私たちには大変な衝撃でした。民意の暴走を止めるための「良識」という重石が必要だということですね。

岩井 若い時にはお説教ばい社是や社訓、「朝礼」などまったく無意味だと思っていました。それが長い目で見れば会社の方向性を左右していることが多い。自分たちは「資本主義的ではない」「利益だけを追求する会社ではない」と謳っているが、グーグルが資本主義的に最も成功した会社になっっているのは逆説的で面白い。

中谷 来年度の「不識塾」ではまさにこのような議論を深めていきたいものです。



一橋大学名誉教授
「不識塾」塾長
中谷 巖



岩井克人氏近著

「不均衡動学」「資本主義論」「貨幣論」「法人論」「貨幣・法・言語論」などで、経済を多角的にとらえてきた岩井克人が、その遍歴と心情を初めて明らかにする。

不識塾で考える
第2回

不識塾

【組織概要】

名称 一般社団法人 不識庵
所在地 東京都千代田区内神田1丁目14番4号

活動内容 世界と日本を考える真のリーダーを育成する「不識塾」、
中堅ビジネスリーダー向け「青天白雲塾」のほか、企業研修も受託中。
お問合せ office@fushikian.jp